コミュニケーション支援ボードの使い方

コミュニケーション支援ボードは、知的障がいのある方、自閉症など発達障がいのある方、聴覚障がいのある方など、言葉でうまく意思や状況を伝えられない場合に使用するボードです。日本語を話せない外国人の方にも使用できます。

①何か困っているみたい、気になる行動をしている…

・辺りを見回して、ずっと何かをさがしている。
・ウロウロして、同じ場所を行ったり来たりしている。
・体調が悪そう。

②「ゆっくり」「やさしく」「ていねい」に声をかけてください

・相手の正面にまわって注意を引いてから、声をかけてみてください。
・何に困っているのか、どうしたいのかを具体的に聞いてみてください。
・言葉の意味が通じていないときや相手が何を言っているか分からないときは、コミュニケーション支援ボードを使ってみてください。

③コミュニケーション支援ボードを活用してください

・ボードを見せて、相手に絵を指さししてもらってください。
・指さしができない場合は、こちらが推測しながら、絵を指さしして、聞いてあげてください。

※場面ごとに、 困りごと 体調のこと あなたのこと

の３つのボードを活用してください。

・言葉が話せなくても、文字や絵が書ける方もいますので、中面にあるホワイトボード（水性ペン使用）を使ってみてください。

お問い合わせ
加古川市障がい者支援課　電話 079-427-9210　ファックス 079-422-8360
メール shougai@city.kakogawa.lg.jp